

## 第4回薬剤師部会企画シンポジウムに対するアンケート調査の結果報告

令和1年8月吉日

薬剤師部会

太田 聡子

酷暑の候、部会員の先生方におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、令和1年7月14日に行われました薬剤師部会企画シンポジウムのアンケート調査結果をご報告いたします。

配布や回収率に差があり確な比較となりませんが、今回は全3回分のアンケートの結果を掲載いたしました。

不備等ございましたら、どうぞご指導のほどよろしくお願いいたします。

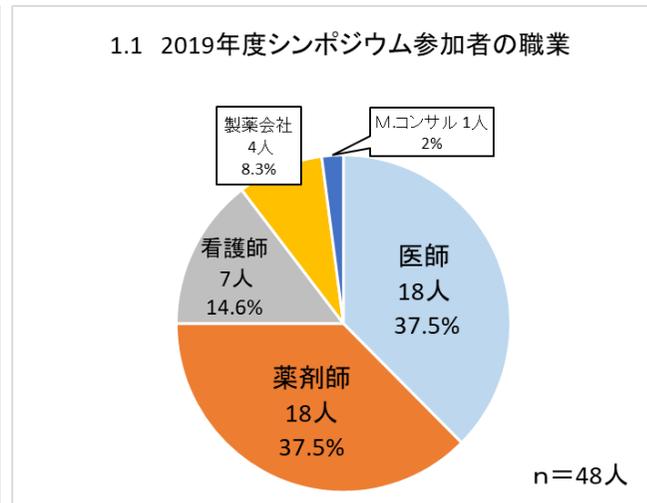
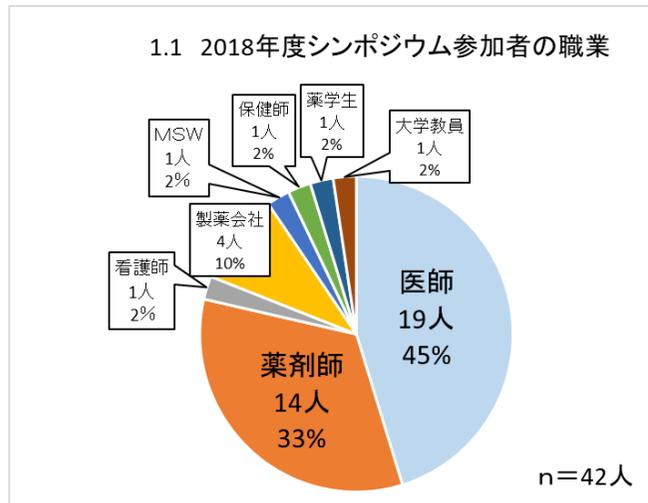
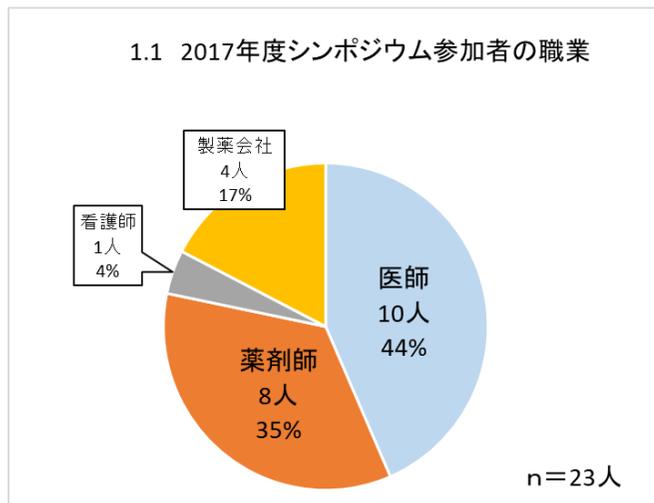
アンケート調査のご立案から回収までご尽力頂きました長谷川先生、ご協力下さいました先生方誠にありがとうございました。

### \*シンポジウム参加人数及びアンケートの配布及び回収方法と回収率\*

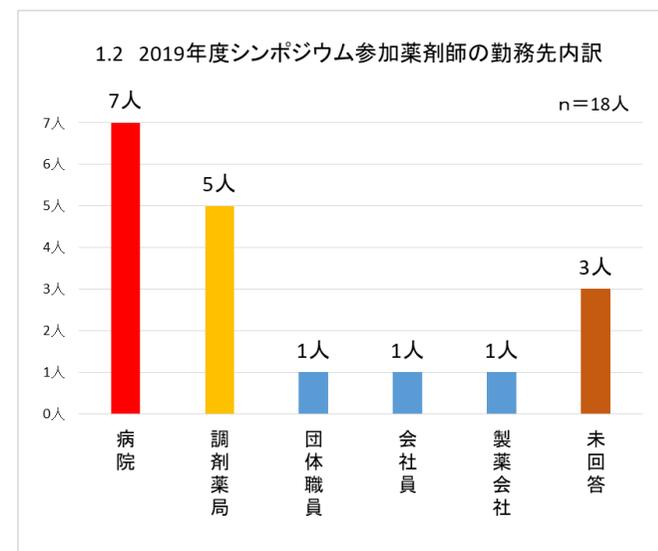
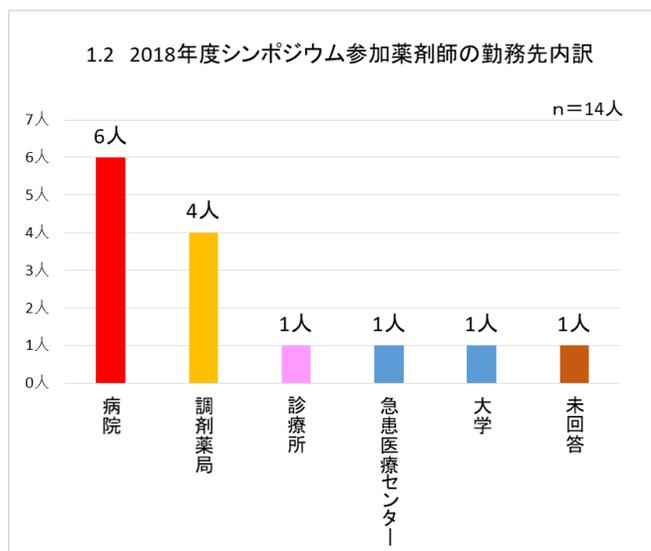
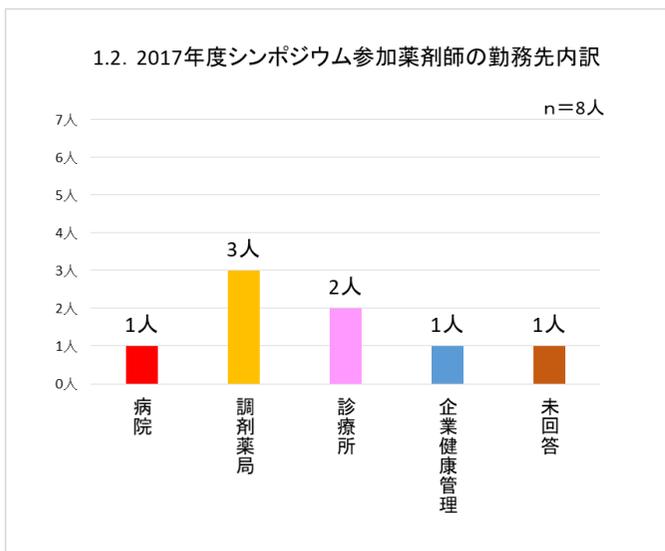
	2017年	2018年	2019年
シンポジウムのテーマ	グローバルヘルスファーマシーの確立に向けて薬剤師の渡航医学 テイクオフ!	グローバル時代における 輸入感染症の治療 (Vol.2)	薬局サーベイランスと トラベルファーマシー
シンポジスト	4人	3人	3人
座長	2人	2人	2人
シンポジウム参加人数 (シンポジスト座長含む)	45人 (途中退出者含まず)	57人 (途中入出者含む)	94人以上 (途中入退者含む)
調査対象	薬剤師部会シンポジウム参加者全員 (シンポジスト座長含む)		
配布及び回収方法	手渡し		
アンケート配布枚数	39枚	46枚	94枚
回収アンケート枚数	24枚	42枚	48枚
回収率	61.5%	91.3%	51.1%

＊アンケート結果＊

1. シンポジウム参加者の職業について



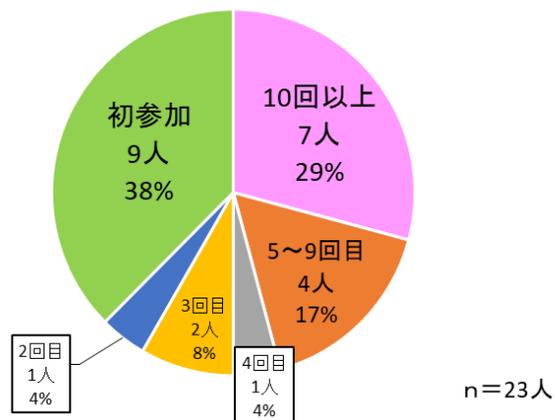
1.2. シンポジウム参加薬剤師の勤務先内訳



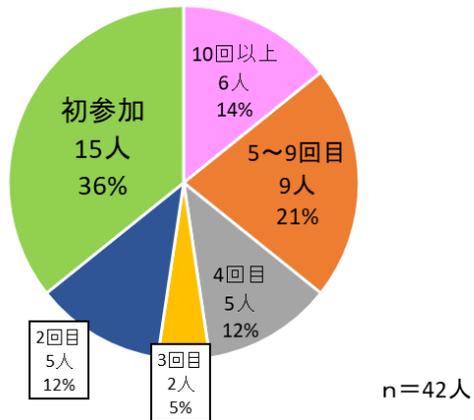
◆2019年の調剤薬局薬剤師のお一人は静岡市医療のグローバル化活動実行委員（SMIG）の方でした。

## 2.1. シンポジウム参加者の学術集会参加回数について

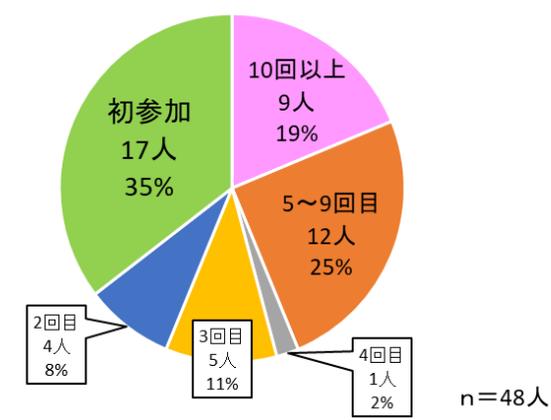
2. 2017年における日本渡航医学会学術集会参加回数



2. 2018年における日本渡航医学会学術集会参加回数

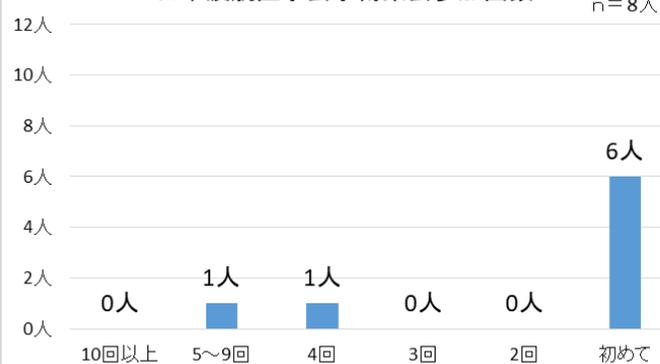


2. 2019年における日本渡航医学会学術集会参加回数

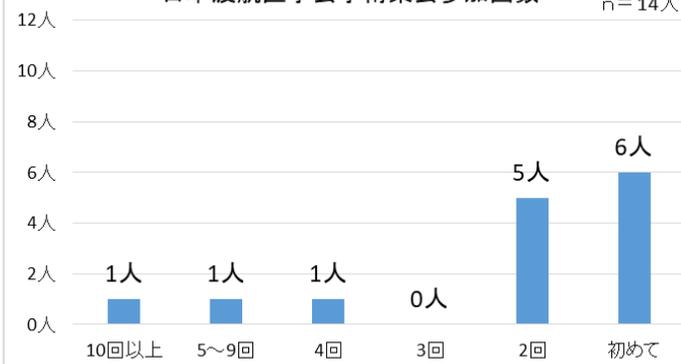


## 2.2. シンポジウム参加薬剤師の学術集会参加回数

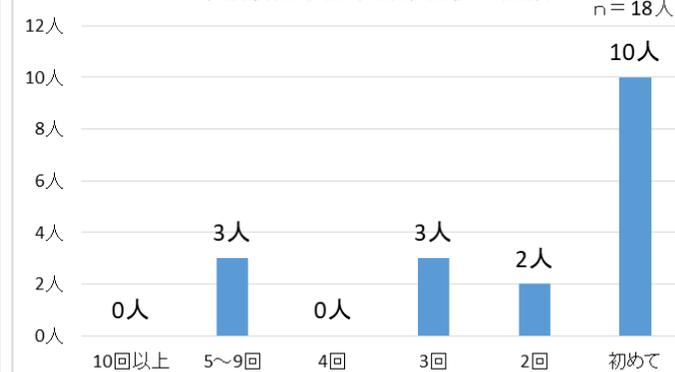
2.2. 2017年度における薬剤師の日本渡航医学会学術集会参加回数



2.2. 2018年度における薬剤師の日本渡航医学会学術集会参加回数

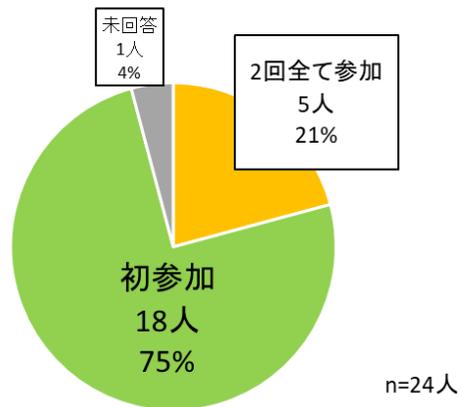


2.2. 2019年度における薬剤師の日本渡航医学会学術集会参加回数

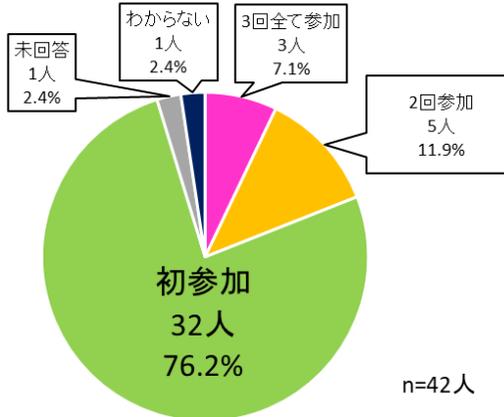


### 3.1. 薬剤師部会シンポジウム参加回数について

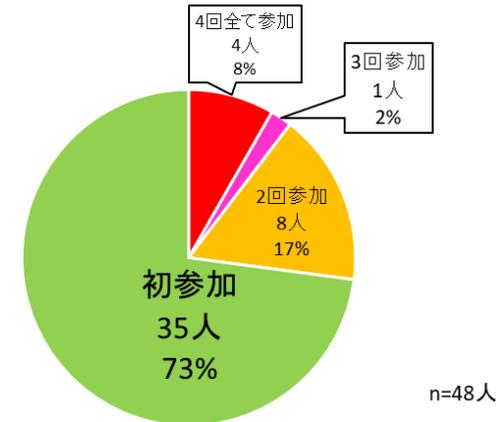
3.1. 2017年における薬剤師部会シンポジウム参加回数



3.1. 2018年における薬剤師部会シンポジウム参加回数

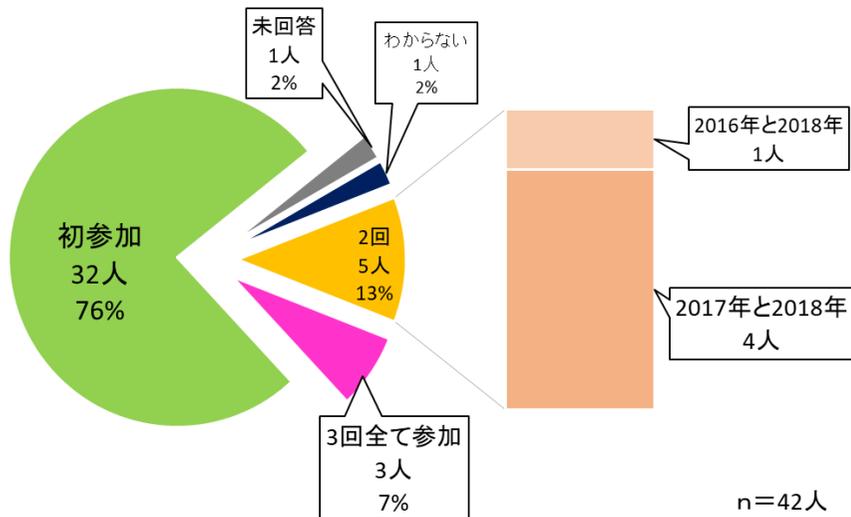


3.1. 2019年における薬剤師部会シンポジウム参加回数

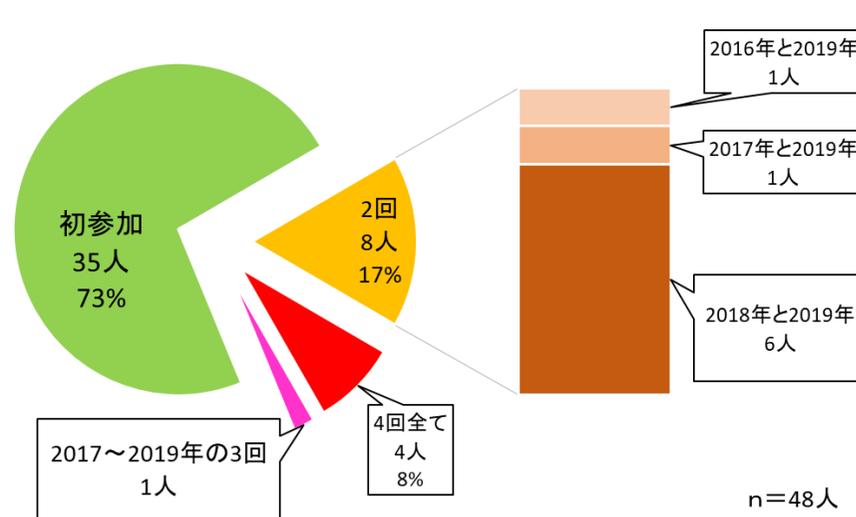


### 2018年と2019年についての2回目、3回目についての内訳

3.1.1 2018年度における薬剤師シンポジウム参加回数とその内訳



3.1.1 2019年度における薬剤師シンポジウム参加回数とその内訳

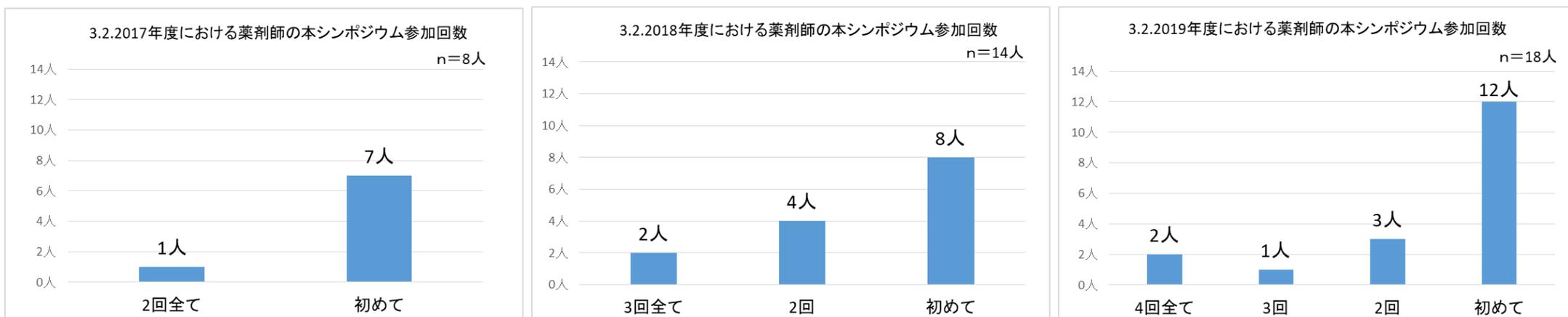


### シンポジウム初参加者の職業内訳

(単位=人)

	医師	薬剤師	看護師	製薬会社	MSW	保健師	M コンサル	薬学生	大学教員	旅行代理店	合計
2017年度	8	7	1	1	0	0	0	0	0	1	18
2018年度	16	8	1	3	1	1	0	1	1	0	32
2019年度	12	12	7	3	0	0	1	0	0	0	35

### 3.2. シンポジウムに参加した薬剤師の参加回数



### シンポジウム初参加の薬剤師の勤務先内訳

(単位=人)

	病院	調剤薬局	診療所	企業の健康管理担当	急患医療センター	製薬会社	団体職員	会社員	未回答	合計
2017年度	1	2	2	1	0	0	0	0	1	7
2018年度	4	2	0	0	1	0	0	0	1	8
2019年度	5	3	0	0	0	1	1	1	1	12

#### 4.1. 今回のシンポジウムを知ったきっかけ

4. 今回のシンポジウムを知ったきっかけ			
(複数回答可)	2017年度	2018年度	2019年度
学会ホームページ	15人	22人	36人
各学会会場のポスターや広告	0人	5人	3人
知人から紹介	7人	6人	5人
プログラム集	1人	2人	1人
抄録集	0人	3人	1人
松山薬剤師会の生涯学習	0人	1人	0人
日経DI	0人	1人	0人
ML	0人	1人	0人
日本渡航医学会会誌	1人	1人	0人
その他	0人	2人	1人
当日	0人	0人	1人
たまたま	0人	0人	1人
未回答	0人	1人	0人

◆ 2019年度の「その他」1人は岡部先生が座長をされていた為でした。

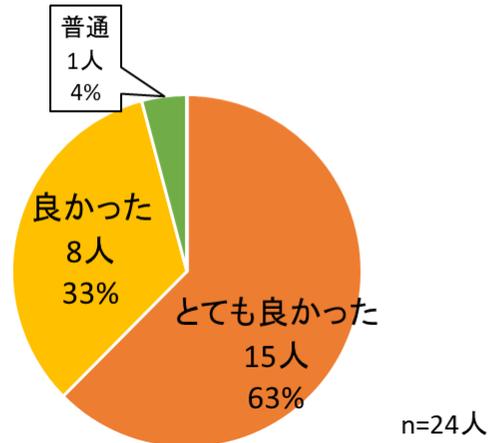
#### 4.2. 初めてシンポジウムに参加した薬剤師の知ったきっかけ

4. 薬剤師でシンポジウム初参加者の知ったきっかけ			
(複数回答可)	2017年度	2018年度	2019年度
学会ホームページ	5人	5人	11人
各学会会場のポスターや広告	0人	0人	1人
知人から紹介	2人	0人	0人
松山薬剤師会の生涯学習	0人	1人	0人
日経DI	0人	1人	0人
日本渡航医学会会誌	0人	1人	0人
その他	0人	1人	0人

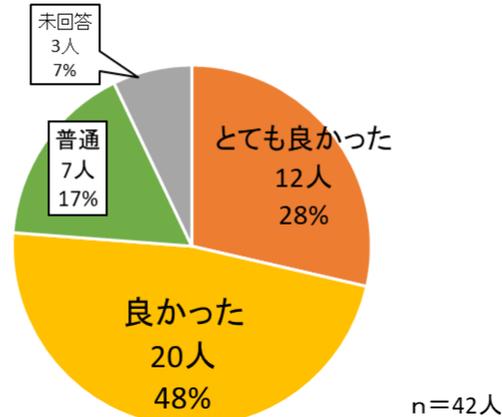
◆2019年度の「各学会会場のポスターや広告」1人の学会名は日本医療薬学会でした。

## 5. 今回のシンポジウムの評価について

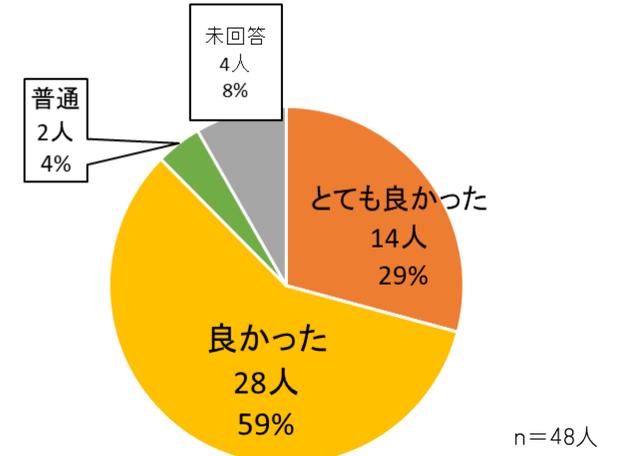
5. 2017年度今回のシンポジウムの評価



5. 2018年度今回のシンポジウムの評価



5. 2019年度今回のシンポジウムの評価



★ 2019年度の意見です。( )内には職種とシンポジウム参加回数と参加年度を記載しています。

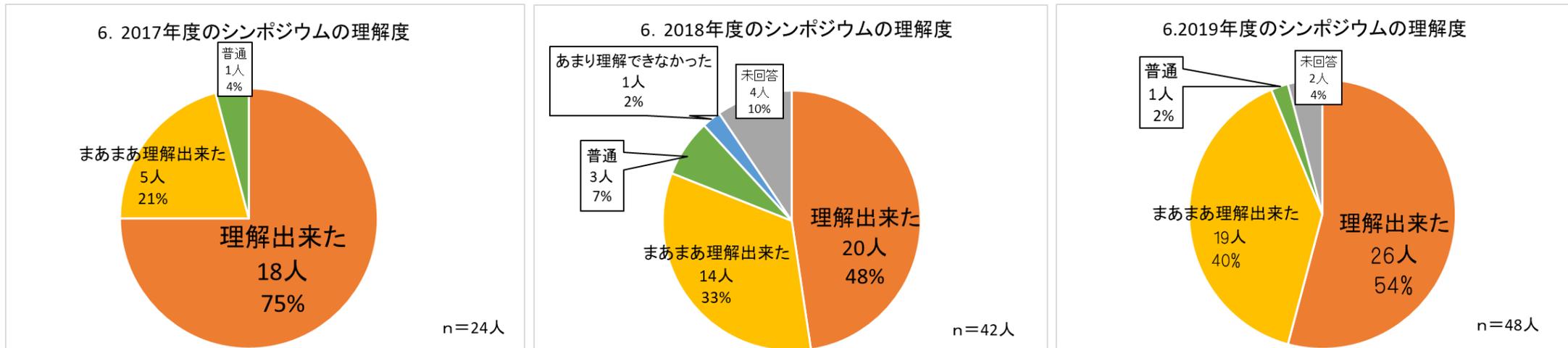
### 【とても良かった方（職業）の意見】

- サーベイランスに興味があつて聴講したが、テロ対策にも使えるなどマスギャザリングでも非常に重要な役割を果たすことを知った。(医師・初参加)
- 薬局サーベイランス(製薬会社・初参加)

### 【良かった方の意見】

- 薬局サーベイランスのことについて知れた(薬剤師・2回・2018年と2019年)
- ベトナムの話が興味深かった(薬剤師・初参加)
- 知らなかった情報に接せられた(医師・2回・2017年と2019年)
- サーベイランスシステムについて初めて学べたので(医師・2回・2016年と2019年)
- 薬局サーベイランスというものがある事がわかった(医師・初参加)
- 薬局サーベイランスについて知る事が出来た(医師・初参加)

## 6. シンポジウムの理解度について



★ 2019年度の意見です。( ) 内には職種とシンポジウム参加回数と参加年度を記載しています。

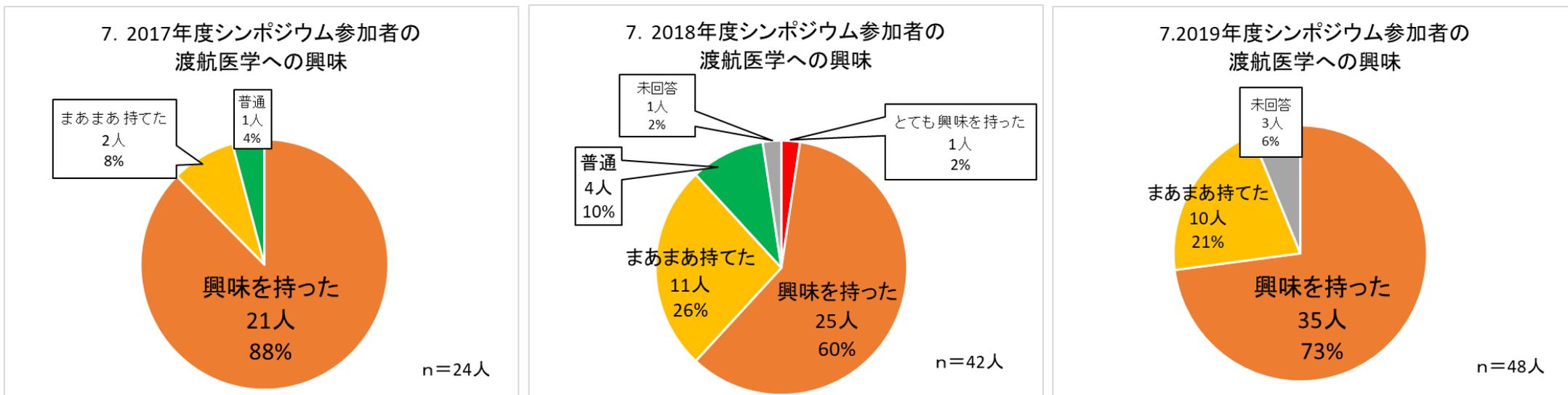
### 【理解出来た方のご意見】

- 特に渡航医学に関する薬の話と感染症の話はとても勉強になりました。(調剤薬局薬剤師・初参加)
- プレゼンがわかりやすかった(看護師・初参加)

### 【まあまあ理解出来た方のご意見】

- 初めて薬局サーベイランスという言葉を知った。データの有効的な活用が出来れば良いと感じた。(団体職員薬剤師・初参加)
- 平易な表現でお話いただけだったので(医師・2回・2016年と2019年)

## 7. 渡航医学に対する興味について



★ 2019年度のご意見です。( ) 内には職種とシンポジウム参加回数と参加年度を記載しています。★

### 【興味を持った方のご意見】

- ◆ もともと興味があり参加しています。ISTM 認定持っています (病院薬剤師・初参加)
- ◆ Vaccine Literacy の推進をお願いします (製薬会社薬剤師・初参加)
- ◆ 海外シニアボランティアに参加したいと思って学会に参加した (病院薬剤師・初参加)
- ◆ 業務に関わっている (薬剤師・初参加)
- ◆ 渡航する時、甘く考えてあまりその土地を考えなかったが、ワクチンが必要だったりする事が大切とわかったので (調剤薬局薬剤師・初参加)
- ◆ ベトナムで働く医療従事者の視点での薬のアドバイスとても面白かったです (医師・2回・2016年と2019年)
- ◆ ベトナムの事情がよくわかりました (医師・初参加)

## 8. 今回のシンポジウムに対するご意見ご感想

★ 2019年度のご意見です。()には職種と薬剤師部会参加回数と参加年度を記載しております。★

- ◆ 薬局サーベイランスを知る機会となって良かった（薬剤師・2回目・2018年と2019年）
- ◆ Vaccine 履歴を残す事は出来ないのでしょうか？（製薬会社薬剤師・初参加）
- ◆ 各薬局でのインバウンド対策のお話など（調剤薬局薬剤師兼静岡市医療のグローバル化活動実行委員・初参加）
- ◆ 薬剤師なので自分が薬局にて活かせそうと思った事が多かったです。  
収穫が多く、とても勉強になりました。（調剤薬局薬剤師・初参加）
- ◆ 毎年の継続を希望します（医師・2回目・2018年と2019年）
- ◆ 頑張ってください（医師・4回全て参加）
- ◆ 薬剤師会の発展をお祈りいたします（医師・2回目・2018年と2019年）
- ◆ バランスの取れたシンポジウムでした。多職種に役立つ内容でした（医師・2回目・2016年と2019年）
- ◆ とても良かったです。もっと多くの人に聴いてもらったら良かった（医師・初参加）
- ◆ 薬剤師参加が少ないようです。もっと集まれば良いですね（医師・4回全て）
- ◆ 良かったです（医師・初参加）
- ◆ 海外でのお話は「クスリ」に焦点を絞って掘り下げた情報を報告していただけて良かった（医師・初参加）
- ◆ 対象が全職種で良いと思う（医師・初参加）
- ◆ 薬剤師部会に初めて参加させて頂きました。他職種間の連携が出来る渡航学会なので、もっと各部から情報発信してください（看護師・初参加）
- ◆ 大変有意義なシンポジウムでした（看護師・初参加）
- ◆ Very Good (M コンサル・初参加)

## 9. 薬剤師部会主催のセミナーで扱ってほしいトピックス

★ 2019年度のご意見です。( )内には職種とシンポジウム参加回数と参加年度を記載しています。★

- ◆ 海外未承認薬に関する事項、新興・再興感染症の薬物治療等（調剤薬局薬剤師・初参加）
- ◆ 精神科薬に関する事（病院薬剤師・初参加）
- ◆ 薬剤やワクチンの取り寄せ等質問できる所を教えてください。基本的なセミナーを行ってほしいです（病院薬剤師・初参加）
- ◆ 海外の薬のラベルの見方とかどんな薬が売られているのかなど。投薬英会話など（1～2h程度とか）（調剤薬局薬剤師・初参加）
- ◆ 国内で使用可能な薬・国内で未承認の薬を整理した講義シンポ（医師・2回・2018年と2019年）
- ◆ できましたら各国事情などのシェアリングを（看護師・初参加）

★ 参考までに2017年と2018年度ご意見も以下掲載いたします。★

### 【2017年度】

- その他の国での薬剤師の渡航医学にまつわる活動内容。  
国内の渡航医学外来がある所の薬剤師さんの渡航医学にまつわる業務内容（調剤薬局薬剤師・2回全て）
- トピック別レビュー。研究の促進→実践への応用（調剤薬局薬剤師・初参加）
- 企業加入（会員）のところに、トラベラーズパックとして安く市販薬を売ってくれると良いなあと思いました（医師・初参加）
- 海外でOTCとして入手できる薬にどんなものがあるか、在留邦人がそれをどう活用できるかに興味がある（医師・2回全て）
- 濱田先生がおっしゃっていたスイスの薬局の様なシステムが日本でも可能か？また佐藤先生がおっしゃっていた（例えば）キットの販売（今までより一歩進んだ）等は可能か？（旅行代理店・初参加）
- 海外の薬局の現状（渡航関係以外も含めて）（医師・初参加）

### 【2018年度】

- ◇ 海外の薬について、特に日本人が良く行く所で病気になりやすい地域（中国、東南アジア、インド等）（調剤薬局薬剤師・3回全て）
- ◇ 海外で使用されている薬と国内流通の違いなど、日本との違いについて（診療所薬剤師・2回目・2017年と2018年）
- ◇ やはりマラリア予防について集中的なセミナーをお願いしたい（医師・初参加）
- ◇ 渡航用の薬剤セット、衛生セットの提案、事前にタミフルは？  
（トラベルセット）海外Drugで購入可能な薬剤（英語）名での（製薬会社・初参加）
- ◇ 渡航時の予防内服、スタンバイ治療など、薬剤師としてエビデンスを示す内容が望まれる。  
薬に対する感受性は、日本人と他の国々の人との間で同一なのでしょうか？（同一量で同様の効果が出るのでしょうか？）  
など、国際化に対応した研究発表を聴きたいと思います（医師・初参加）

## 後記

今回で薬剤師部会シンポジウムも4回目の開催となりました。

本アンケートはシンポジウム第2回目から第4回目までの計3回の実施ですが、年々シンポジウム参加人数は増加しており、新たに薬剤師部会シンポジウムに関心を持った方が増加傾向にある事がわかり心強い思いです。

また、医師中心であった薬剤師部会シンポジウム参加者も年々薬剤師の参加人数も増加しており、薬剤師の渡航医学に関する関心が増加している事も窺えます。

一方で薬剤師部会シンポジウムのリピーターの少なさは少し懸念される事柄でもあります。

アンケートの問いの最後「今後の薬剤師会主催セミナーで扱ってほしいトピック」は参加者の日々の業務で現在求められる『渡航医学における薬学的知識』の反映とも受け取れます。

このアンケートを基に、より多くの方々、とりわけ薬剤師が渡航医学への関心を持ち、業務参画を行っていただけるようなシンポジウム及びセミナー作りの必要性を感じます。

以上